

放射線医学講座の河原愛子です。この度第111回北米放射線学会(RSNA2025)の教育展示に提出した演題にて、Magna Cum Laude を受賞することができました。

演題名：Orbital Apex Disorders: From Anatomy to Imaging; A Comprehensive Review for Improving Clinical Outcomes

(眼窩先端障害：解剖から画像まで、臨床転帰改善のための包括的なレビュー)

このたびの身に余る受賞に、誠に驚くとともに大変光栄に存じます。

演題作成の過程は、眼窩先端部の解剖や画像所見、関連疾患の治療について学び直す貴重な機会となりました。このような形で発表できましたのは日頃よりご指導くださっている先生方や臨床・研究に多大なご協力を賜りました放射線部の皆様のご支援があってこそと、改めて実感しております。この場をお借りして、心より御礼申し上げます。

本受賞を励みに、今後も臨床および研究に一層精進してまいりたいと存じます。

